

三越伊勢丹グループ
2022年3月期第1四半期
決算説明会



三越伊勢丹ホールディングス

2021年7月29日

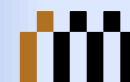


I. 2021年度 第1四半期実績

II. 2021年度 通期計画

III. 営業条件

連結業績（収益認識基準適用）



- ・総額売上高は前年のコロナウイルスによる休業の反動で大幅増収。
- ・収益認識基準適用により中元売上の一部が第2Qへ期ズレとなり、営業利益にも影響。
- ・当期純利益は前年から219億円の赤字縮小。

（億円）	1Q （4-6月）	前年比	前々年比	前年差	前々年差
総額売上高	1,963	149.1%	69.5%	+646	▲859
売上高	885	67.2%	31.4%	▲431	▲1,937
売上総利益	501	127.6%	60.6%	+108	▲326
販売管理費	561	116.3%	75.2%	+78	▲185
営業利益	△60	—	—	+29	▲140
経常利益	△57	—	—	+41	▲144
四半期純利益	△86	—	—	+219	▲146

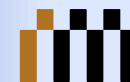
連結業績（四半期純利益の前年からの改善要因）



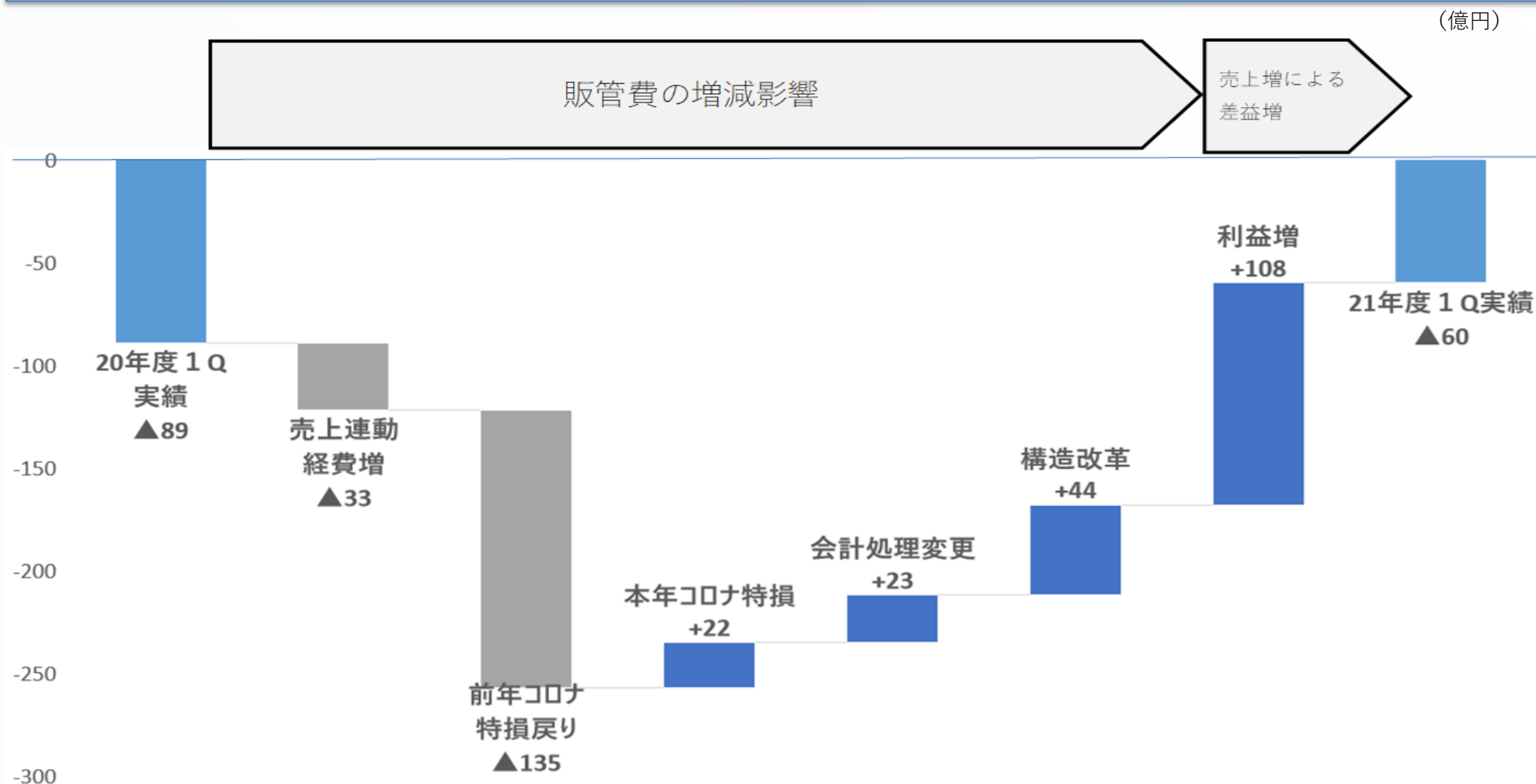
- ・純利益前年差＋219億円は、営業利益の増加、持分法損益改善による経常利益の増加に加え、コロナ関連の特別損失や税金費用が減少したことによるもの

（億円）	1Q （4-6月）	前年	前年差
営業利益	△60	△89	+29
経常利益	△57	△98	+41
特別損失	27	148	▲121
内）コロナ関連	25	122	▲97
その他	1	25	▲24
税引前 四半期純利益	△84	△247	+162
税金費用	3	59	▲56
四半期純利益	△86	△305	+219

連結業績（前年との営業利益増減要因）



- ・営業利益は前年のコロナ特損影響をはじめとする減益要因がある一方、前年より営業拡大となった売上増や、コスト構造改革の進捗が寄与するも、黒字化には至らず



連結販管費増減額

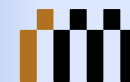


- ・ 構造改革による経費削減は年間目標120億円に対して進捗率37%で推移

			前年増減の内訳				
			前年戻り	当年増減			
(億円)	1Q (4-6月)	前年増減	休業 コロナ特損	構造改革	売上連動	会計処理 変更	特別損失 (コロナ)
人件費	217	+ 39	+ 52	▲6		+ 1	▲8
宣伝費	17	+ 2	+ 4	▲1			
地代家賃	72	+ 23	+ 23	▲3		+ 7	▲4
外部委託費	68	+ 8	+ 18	▲9		+ 1	▲3
減価償却費	53	+ 7	+ 20	▲8			▲5
その他	134	▲1	+ 17	▲16	+ 33	▲32	▲2
合計	561	+ 78	+ 135	▲44	+ 33	※ ▲23	▲22

※原価との振替のため、営業利益に影響せず

連結業績（特殊要因）



- ・ 1Q業績における収益認識基準適用の期ズレ（中元、カード年会費）を除けば、営業利益は△31億円、四半期純利益は△57億円と試算。
- ・ またこれ以外の要因として、緊急事態宣言下の一部閉鎖によるマイナス影響は営業利益で約36億円であり、それを除けば営業利益は黒字の水準。

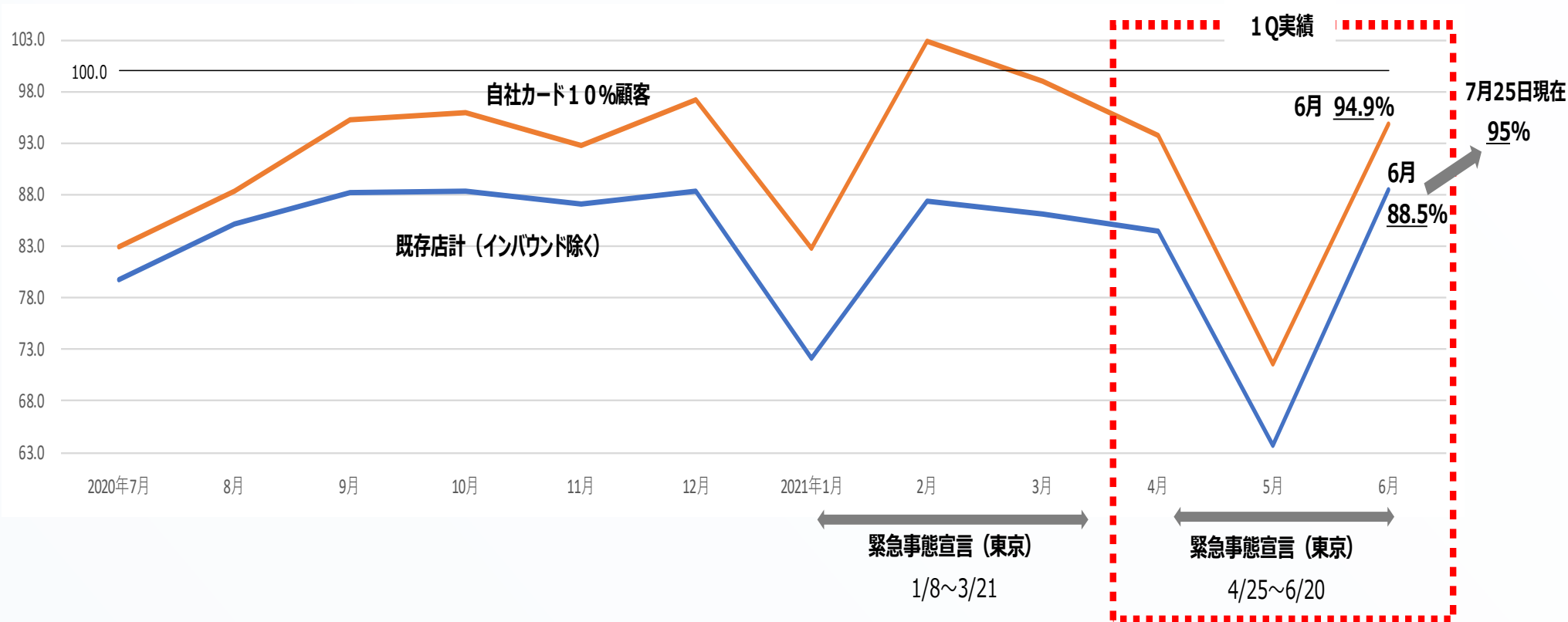
（億円）	1Q （4-6月）	①中元変更 影響額	②カード年会費 影響額	特殊要因 ①・②を加えた 1Q 試算値
総額売上高	1,963	74	6	2,043
売上総利益	501	22	6	530
販売管理費	561	—	—	561
営業利益	△60	22	6	△31
経常利益	△57	22	6	△28
四半期純利益	△86	22	6	△57

百貨店既存店売上動向



- ・ 既存店売上高推移を見ると、1月と5月に大きく落ち込むが、その後は急回復の傾向。
- ・ また高感度上質消費は、1月落ち込み後も2月、3月と堅調に推移し、全体売上を牽引。

百貨店既存店売上 前々年比推移



連結業績（セグメント別）



- ・百貨店業：営業利益△82億円は、中元の期ズレ22億円と一部閉鎖影響36億円を除けば△25億円と試算。
- ・クレジット・金融・友の会：カード年会費の期ズレ6億円を除けば営業利益は22億円。
- ・不動産業：前期の三越伊勢丹不動産売却で売上高は減少するが、前年並みの利益確保。

（億円）	総額売上高	前年比	前々年比	売上	営業利益	前年差	前々年差
百貨店業	1,833	157.5%	70.2%	776	△82	+29	▲119
クレジット・ 金融・友の会業	84	114.2%	81.8%	72	16	+2	▲8
不動産業	41	56.5%	56.5%	41	13	0	0
その他	130	107.4%	66.4%	122	△7	▲2	▲11
合計	1,963	149.1%	69.5%	885	△60	+29	▲140

※各セグメントの合計には調整額を含む



I. 2021年度 第1四半期実績

II. 2021年度 通期計画

III. 営業条件

連結計画（21年度通期）



- ・売上高は7月に入り、既存店計（インバウンド除く）前々年比95%(25日現在)とさらに回復。特に新宿は100%を超えて推移。
今後は引き続き、好調な外商戦略をフックにさらなる活性化を図る一方、経費構造改革は追加施策なども計画しながら推進。
- ・以上を踏まえ、21年5月に発表した計画は変更せず。

(億円)	通期	前年比	前年差
総額売上高	9,650	118.3%	+1,489
売上高	4,470	54.8%	▲3,690
売上総利益	2,580	113.4%	+ 304
販売管理費	2,550	102.6%	+ 64
営業利益	30	—	+ 239
経常利益	30	—	+ 201
当期純利益	10	—	+ 420

21年度連結販管費増減額



- ・年間販管費の計画は下記のとおり。中でも経費構造改革は昨年の193億円に続き、今期120億円の計画を予定通り進めるだけでなく、追加の経費削減を計画中。

			前年増減の内訳				
			前年戻り	当年増減			
(億円)	21年度	前年増減	休業 コロナ特損	構造改革	売上連動	会計処理 変更	特別損失 (コロナ)
人件費	885	+ 40	+ 93	▲41		+ 5	▲8
宣伝費	115	+ 11	+ 16	▲5	+ 2	▲1	
地代家賃	314	+ 54	+ 32	▲13	+ 7	+ 33	▲4
外部委託費	303	+ 3	+ 21	▲19		+ 5	▲3
減価償却費	246	+ 9	+ 23	▲6			▲5
その他	687	▲53	+ 69	▲36	+ 48	▲141	▲5
合計	2,550	+ 64	+ 254	▲120	+ 57	※ ▲99	▲25

※原価との振替のため、営業利益に影響せず

セグメント別連結計画（21年度通期）



- ・百貨店業の計画については今後もコロナによる影響が不透明ではあるが、経費構造改革の一層の推進を継続するなどし、セグメント別計画についても21年5月に発表の計画を変更しない。

（億円）	総額売上高	前年比	売上	営業利益	前年差
百貨店業	9,220	122.6%	4,090	▲65	+238
クレジット・ 金融・友の会業	340	104.5%	310	45	+0
不動産業	220	77.6%	220	55	+0
その他	550	86.4%	520	▲10	△3
合計	9,650	118.3%	4,470	30	+239

※各セグメントの合計には調整額を含む

主要財務数値比較

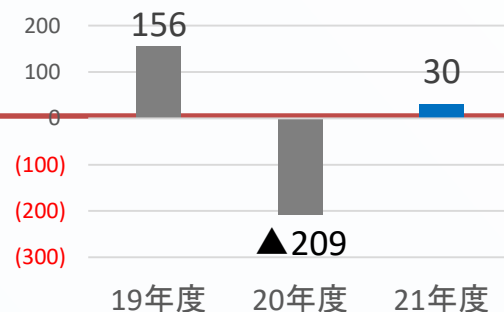


単位：億円

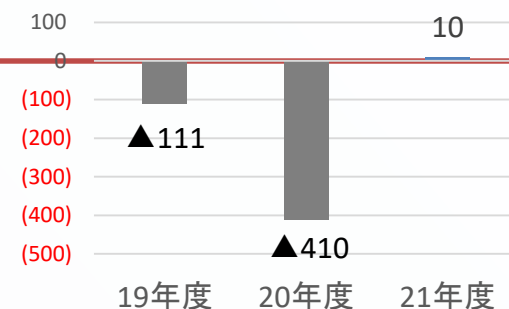
総額売上高



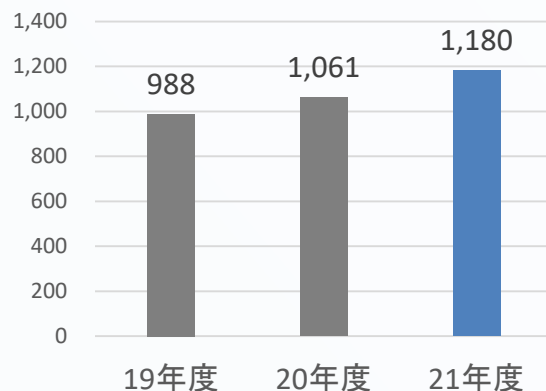
営業利益



当期純利益



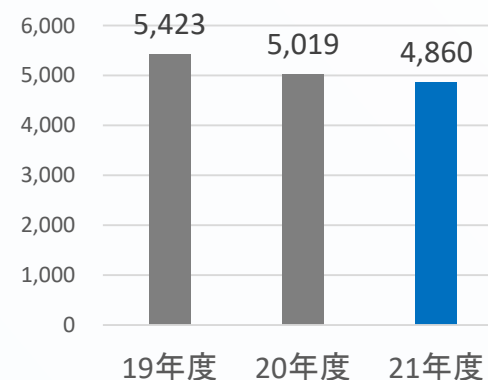
NET有利子負債



NET-DEレシオ

19年度 0.18倍 → 20年度 0.21倍 → 21年度 0.24倍

自己資本



自己資本比率

19年度 44.3% → 20年度 41.9% → 21年度 42.1%



I. 2021年度 第1四半期実績

II. 2021年度 通期計画

III. 営業条件

営業条件（2021年度）



- ・ 4月25日の緊急事態宣言に伴い首都圏三越伊勢丹は生活必需品を除き休業
- ・ 首都圏三越伊勢丹は5月19日に営業を再開（一部休業は継続）
- ・ 6月1日より平日は全館通常営業、土日は一部休業とし、21日より全館が平日土日ともに通常営業となる

	4月25日～5月18日	5月19日～5月31日	6月1日～20日	6月21日以降
伊勢丹新宿本店	休業 ※生活必需品のみ時短営業	営業再開（生活必需品のみ） ※一部休業	平日は通常営業 土日は宝飾、アクセサリー、美術が休業。ラグジュアリーブランドは原則事前予約	平日土日ともに全館通常営業 （レストランは20時まで、酒類は19時まで）
三越日本橋本店				
三越銀座店				
伊勢丹立川店				
伊勢丹浦和店	首都圏店舗1Q期間中　：　通常営業　4 8日、時短営業　0日、　一部休業　4 3日			
	レストランのみ時短営業	レストランのみ時短営業	レストランのみ時短営業	レストランのみ時短営業

丸井今井札幌本店	通常営業	平日は通常営業 ※土日は一部休業	平日は全館通常営業 土日は生活必需品のみ営業 6月5日から時短営業	全館通常営業 ※一部店舗ではレストラン時短営業	
札幌三越		通常営業	通常営業		
函館丸井今井					
仙台三越		平日は通常営業 ※土日は一部休業	平日は全館通常営業 土日は生活必需品のみ営業		
新潟伊勢丹					
名古屋三越栄店		通常営業	通常営業		
名古屋三越星ヶ丘店		平日は全館時短営業 土日は生活必需品のみ営業	平日は全館通常営業 土日は生活必需品のみ営業		
静岡伊勢丹		通常営業	通常営業		
広島三越		通常営業	通常営業		
高松三越					
松山三越	5月12日から時短営業	平日は時短営業、土日は一部休業	平日は全館通常営業 土日は一部休業		
岩田屋本店		平日は通常営業、土日は一部休業			
岩田屋久留米店		平日は時短営業、土日は一部休業			
福岡三越	5月12日から時短営業				

営業条件（参考：2020年度）



- ・4月8日の緊急事態宣言発出に伴い首都圏三越伊勢丹を中心に全館休業
- ・5月の営業再開後も6月中旬までは時短営業とし、6月中旬以降に通常営業となった。

4月		5月		6月	
店舗	営業条件	営業条件		営業条件	
伊勢丹新宿本店	4月8日から全館休業	5月30日から全館時短で営業再開		6月13日から全館通常営業	
三越日本橋本店					
三越銀座店					
伊勢丹立川店					
伊勢丹浦和店					
首都圏店舗 1 Q期間中 ： 通常営業 2 5 日 、時短営業 1 4 日、 全館休業 5 2 日					
丸井今井札幌本店	4月18日から全館休業	5月28日から全館時短で営業再開		6月13日から全館通常営業	
札幌三越					
函館丸井今井	4月20日から食品のみ時短営業 ※25日、26日は全館休業	5月27日から全館通常営業		通常営業	
仙台三越	4月21日から食品を除き休業 ※25日、26日は全館休業	5月16日から全館時短で営業再開		6月17日から全館通常営業	
新潟伊勢丹	4月20日から食品を除き休業	5月18日から全館通常営業		通常営業	
名古屋三越栄店	4月12日から食品を除き休業 ※25日、26日は全館休業	5月17日から全館通常営業			
名古屋三越星ヶ丘店	4月12日から食品を除き休業	5月18日から全館時短で営業再開		6月1日から全館通常営業	
静岡伊勢丹	4月18日から食品を除き休業			通常営業	
広島三越	4月11日、12日、17日～30日、食品を除き休業				
高松三越	4月18日から全館休業				
松山三越	4月18日から全館休業				
岩田屋本店	4月9日から食品を除き休業	5月16日から全館通常営業			
岩田屋久留米店					
福岡三越					